教 育 委 員 会 会 議 録

令和5年11月

教育長	教育次長	学校教育課長	社会教育課長	会 議	・ 区 分
				定 例 会	
開会場所	加悦保健センター(元気館) 2階 農事相談室		担当書記	中 上 伸 午	
会議日程	自 令和5年11月28日(火) 1日間 至 令和5年11月28日(火)				
出席者数	委員 5名 出席				
出席委員	教育長 長島 雅彦		委員 岡田 三栄子		
	委員 樋口 潔		委員 酒井 英隆		
	委員 佐々木 和代				
欠席委員					
説明者	教育次長兼学校教育課長		中上 伸午		
	学校教育課課長補佐 吉田		達雄		
	社会教育課長 小谷 貴儀		社会教育課主幹 加藤 晴彦		
	社会教育課主幹 大江 聡		指導主事 杉本 淳		
署名委員	委員 酒井 英隆		委員 佐々木 和代		
その他	【傍聴者】 なし				

会 議 に 付 し た 事 件

項 目	件 名	結 果
審議事項	<p>議案第15号 専決処分の承認を求めることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧岩屋小学校解体撤去工事請負契約の締結について ・ 令和5年度与謝野町一般会計補正予算（第5号） 	

協 議 及 び 報 告 事 項

項 目	件 名
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 与謝野町文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱の制定について ・ 与謝野町学童保育所管理運営業務業者選定委員会設置要綱の制定について
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校等の適正規模適正配置に関する基本方針について ・ 今後の予定について

教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年11月28日 午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 場 所 加悦保健センター（元気館）2階 農事相談室
- 3 議事の概要

[長島教育長]

それでは定刻になりましたので、令和5年度第8回与謝野町教育委員会会議を開催したいと思います。本日、会議の傍聴はありませんでした。

それでは、お配りしております日程に従いまして、会議を進行いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」についてでございますが、酒井委員と佐々木委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（両委員とも了承）

[長島教育長]

承認をいただきましたので、よろしく願いいたします。

次に、日程第2、「確認事項」といたしまして、会議録の確認をお願いいたします。

はじめに、10月に開催いたしました令和5年度第6回教育委員会会議の会議録につきまして、前回の委員会においてご指摘いただいた箇所について修正をさせていただいております。修正の通りご確認いただいたということでよろしいでしょうか。

（委員了承）

それでは、本会議終了後に署名をお願いいたします。続きまして、10月26日に開催いたしました令和5年度第7回教育委員会会議の会議録につきましては、修正等はありませんでしょうか。

[岡田委員]

修正をしていただきましたが、意味は変わらないと思いますのでよろしくお願いします。

[佐々木委員]

同じく、内容が変わるものではありません。修正・削除をしていただきました。

[樋口委員]

私も文言の削除と一部訂正をお願いしましたが、内容が大きく変わるものではありません。よろしくお願いします。

[酒井委員]

3箇所の修正をお願いしました。

[長島教育長]

ご指摘の箇所を修正し、次回の教育委員会議で承認・署名いただくことといたします。

[長島教育長]

それでは、日程第3、「教育長の報告」に入らせていただきます。

前回の会議からこの間、園・学校訪問に加えて京都府内市町村教育委員研修会、地教委連の委員等研修もお忙しい中をお世話になっております。本日も第8回の教育委員会会議にお集まりいただき、感謝を申し上げます。

暑かった秋も11月のこの頃になりますと、さすがに一段と寒さも加わり、秋の終わりと冬の始まりを感ずる頃、まさに「うらにし」の頃となりました。

さて、コロナ感染症をめぐる状況ですが、レジュメにある定点把握の数字にあるように最新の数値は、感染法上の取扱いが2類から5類に移行し全数把握が終了した5月8日頃の数値を下回っています。この間、9月上旬をピークとした感染拡大を第9波とするならば、今、完全収束したと言えます。しかしながら、今までの流れで言えば次の第10波もあると考えるのが自然であると言えます。

一方で、危惧されていた季節性インフルエンザの感染拡大は、京都府内では警報も出されている地域もあり、厳しさを増しています。参考までにこちらも定点把握の数値を載せておりますが、今月に入って加悦小学校、石川小学校、橋立中学校、岩滝小学校、山田小学校、加悦中学校で学級または学年閉鎖と相次いでいたしました。各校ともにインフルエンザ罹患者が児童生徒のみならず教職員にも増えている状況にあります。

今こそ3年にわたるコロナ禍で学んだ教訓、感染予防に係る具体的な手立てを実践すべき時かと思えます。

園・小中学校の状況ですが、まずは先日の26日に開催された第12回となる与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会の令和のBuson俳句大賞では、大賞の荣誉に輝いた岩滝学校5年生をはじめとして、別紙にあるように多くの児童生徒が受賞いたしました。いずれも素晴らしい句でございますが、与謝野町の誇る俳句文化にそれぞれの学校で真摯に取り組んでもらっていることに、感謝と敬意を表したく思います。

また、11日に開催されました宮津市での「中学生の主張大会」には、橋立中学校各学年代表生徒が参加し、内、3年生が「多様性の中で生きる」というタイトルで堂々たる発表を行い、見事、教育長賞に輝きました。今度の日曜日に開催される町の「子ども発表会」にも大きな期待をしたいと思います。

この間の大きな行事ごととしては、8日には4年ぶりにコロナ禍前の形で音楽フェスティバルが開催され、4校が出演し芸術・文化の秋を飾っていただきました。当日は保護者の方々の参観が多く、立ち見の方も多く出るといった盛況でありました。そして各小学校の学習発表会では日頃の学びの成果を保護者や地域に披露していただいたところです。

10日には「つばきこども園」が2年間にわたる京都府公立幼稚園・こども園教育研究会での発表を無事成功裏に終えられました。こども園としては京都府で初めての指定、開園して間もない時期からの指定であり、前田園長先生のご労苦には大変なものがあっても

のと拝察いたしますが、当日の子どもたちと先生方の笑顔が、研究実践の確かさを証明していたと感じた次第でございました。

さらに個別の児童生徒の活躍となりますが、府の小論文グランプリに加悦中学校3年生が見事入選し、同じく府の人権擁護啓発ポスターコンクールでは加悦中学校3年生が佳作の荣誉に輝かれています。

続いて社会教育の動きですが、この間、レジュメにあるように沢山の行事・取組がございました。まずは10月29日に宮津市民体育館を中心にして京都府PTA研究大会・与謝大会が開催されました。当日は府内各地から500名を超える参加者を迎え、ポストコロナ、アフターコロナの大会の在り方のモデルの大会として、盛大に開催され、そして無事に成功裏に終えることができました。石川小学校には事務局校としての大役を果たしていただきました。

今月、12日には岩滝体育館で京都女性の健康フェスティバルが開催され、こちらも府内各地からの多くの方に訪れていただき成功裏に終えることができたと聞いてます。

そして先ほども申しました与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会ですが、全国各地から約130名の方々迎え、無事に終えることができました。昨年度から始めた前日の吟行ツアーも16名の方々が参加されたようです。

また、文化財関係で皆様方にご審議をいただきました見送幕などの町指定文化財や旧尾藤家住宅の重要文化財指定という嬉しい発表も相次いでございました。

今年度の園・学校訪問ですが、残すところ1園と2校となっておりますが、2か月を超える長丁場となっておりますこと、参観後の意見交換の場において忌憚ないご意見をお世話になっておりますことに、改めて感謝を申し上げます。その中で樋口委員が各校で聞かれている基礎的な学力の定着の必要性についてですが、私の方からも11月の校園長会議で当町の子どもたちの学力実態については厳しいものがありますので、改めて課題提起をさせていただきました。

1日に始まる12月定例会ですが、レジュメにあるような教育委員会関係の一般質問が予定されています。

最後、その他になりますが、本日は専決処分の承認や文化財に係る報告、そして引き続きの案件であります学校等の適正規模適正配置に関する基本方針についての協議などをお願いできればと考えております。この後の時間、よろしく願いいたします。

[長島教育長]

次に、日程第4、「審議事項」に入らせていただきます。

議案第15号「専決処分の承認を求めることについて」、令和5年12月与謝野町議会議案の議決を得るべき議案に対する意見についてを議題とします。

[長島教育長]

提案理由等について 中上教育次長が説明いたします。

(中上教育次長から資料に基づき説明)

[長島教育長]

続きまして、小谷社会教育課長が説明をさせていただきます。

(小谷社会教育課長から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[樋口委員]

先日、加悦中学校に行きましたところ、非常に湿度が高く、小さめの除湿器が頑張っていて動いていたのですが、それも2つあるうちの1つが壊れたということでした。質問としては他の小学校で除湿器があれば、それを中学校に持って来れるものなのか、それに関連して、例えば社会教育施設にそういった物品がありましたら、それを中学校の方に学校教育課との垣根を越えてお借りすることが可能なのか、もし使えるのでしたら中学校の役に立つかと思ひまして、参考のために教えていただけるとありがたいです。

[中上教育次長]

湿気が多いということでした、空気清浄機・除湿機が借りられないのかということについてですね。他の学校で動いている物品で動かせる物であれば持ってくることは可能ですが、備品台帳等がありますので、物品を他の学校から加悦中学校に移すという形で持ってくることは可能ではあります。ただし、どこの学校も除湿器を何も無しに置いているということではありませんので、要望があるかどうかということが気になりますけれども、できないことはありません。

[長島教育長]

検討課題として、受け止めていただくということですね。

[樋口委員]

例えば、ストーブが1台どうしても足りない時はあると思うのです。その様な状況で、速やかに借用することが可能かどうかの質問なのです。例えば社会教育施設の中にある物品を、そういう垣根を越えて借りられるかどうかの疑問があったので、質問させていただきました。

[小谷社会教育課長]

社会教育施設のどの施設に除湿器等の器具があるのかにつきましては、手元では承知していませんが、基本的には先ほど説明させていただいた通り、その施設の専用の備品を整備している訳ですが、そこで使う必要性が無ければ備品を持ちながら登録し直して使うということは可能ですので、まずはその調査からさせていただいて、できる様でしたら学校で使っていただける様にします。

[樋口委員]

それは基本的に、ここにあるストーブを特定の施設に持っていく移動ということになりますよね。今後ともそこで使うのでは無くて、特定の1～2ヶ月だけ使いたいために借りるというのは叶わないのでしょうか。

[中上教育次長]

借りるのと、その学校の物に移管するのは違まして、その学校の物にするのであれば、備品台帳を直して、その備品にするということになります。ただ単に借りるのであれば、借用願まで提出して下さいと言われれば、そうなるのかも知れませんが、それらがあるのかどうか分かりませんが。ある期間からある期間まで貸して下さい、という形で借りていけるのかと思います。

[岡田委員]

どこの学校かは忘れましたが、寒い卒業式の時にストーブを借用されていたことはあります。中学校と小学校は日程が重なっていませんので、借りてきましたという小中学校があった様に記憶しているので、その1日だけ借りることはきっと大丈夫かと思います。

[長島教育長]

現実的な対応であれば借用願がいる、いらぬはまた別問題として、そういう形で対応できる方が現実的かと思います。

[長島教育長]

他に、質問はありませんか。

[酒井委員]

一般会計補正予算学校教育課の歳出の1行目の項目です。全国大会等出場激励金があります。いわゆる給付金の様なものなのか、どういう趣旨のものなのか教えていただけるとありがたいです。それから、この5,000円という金額がどういう目的で使用されているのか、激励金を文字通り理解すればいいのか、その辺の趣旨の説明をお願いします。

[中上教育次長]

全国大会等出場激励金ということで、個人・団体に対しまして年に1回ですが、激励に來られた方に対しまして、5,000円を交付させていただくという様なことを行っています。基本的には大会に行かれるまでに申請をしていただいて、それを受けて報告をさせていただくということになります。場所は教育長室の方に来られまして、大会に行かれることに対しての報告や、様々なことを受けられての応答に、ケーブルテレビでの放送や、広報与謝野の方に掲載する様なことで対応させていただいています。今年、多く上がってきていまして、予算的に無くなってきたため、今回10回分を計上させていただいたというものであります。

[酒井委員]

財源が十分にある訳ではないので、そういうことを言いにくい部分もあるのですが、お一人あるいは1団体に5,000円という金額ですね。全国大会に行かれる方もそんなに多くないと思うので、金額を上げたいという思いもあります。検討をお願いしたいと思います。

[長島教育長]

それでは、議案第15号「専決処分の承認を求めることについて」、令和5年12月与謝野町議会定例会の議決を得るべき議案に対する意見については提案の通り承認される方は挙手をお願いをします。

[長島教育長]

挙手全員でございます。よって議案第15号「専決処分の承認を求めることについて」は、提案の通り承認されました。

[長島教育長]

次に、日程第5、「報告事項」に入らせていただきます。

報告第7号「与謝野町文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱の制定について」、加藤社会教育課主幹が報告いたします。

(加藤社会教育課主幹から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

(質疑なし)

[長島教育長]

続きまして、報告第8号「与謝野町学童保育所管理運營業務業者選定委員会設置要綱の制定について」、大江社会教育課主幹が報告いたします。

(大江社会教育課主幹から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

(質疑なし)

[長島教育長]

続きまして、日程第6「その他」に入らせていただきます前に、もう1点報告事項があります。「与謝野町の文化財の新規指定等について」、小谷社会教育課長が報告をいたします。

(小谷社会教育課長から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[樋口委員]

今は府の指定ですか。

[小谷社会教育課長]

今は府の指定です。

[長島教育長]

それでは会議が始まりましてから1時間となりましたので、10分休憩を取らせていただきます。

(暫時休憩)

[長島教育長]

休憩を閉じ、再開させていただきたいと思います。

「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」の改定版についての協議の方に入らせていただきたいと思います。

(「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針について」協議)

[長島教育長]

他に事務局からありましたら、お願いします。

[中上教育次長]

次回、教育委員会議の日程調整をさせていただきたいです。

(次回教育委員会議の日程調整)

[中上教育次長]

次回の教育委員会議については、12月25日(月)となります。午前9時半からお世話になりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

[長島教育長]

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後3時30分 終了

教育長

委員

委員

書記

教 育 委 員 会 日 程

日 時：令和5年11月28日（火）

午後13時30分～

場 所：加悦保健センター2階農事相談室

日程第1 会議録署名委員の指名

酒井委員 佐々木委員

日程第2 確認事項

会議録の確認

日程第3 教育長の報告

日程第4 審議事項

議案第15号 専決処分の承認を求めることについて

- 1 旧岩屋小学校解体撤去工事請負契約の締結について
- 2 令和5年度与謝野町一般会計補正予算（第5号）

日程第5 報告事項

報告第7号 与謝野町文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱の制定について

報告第8号 与謝野町学童保育所管理運営業務業者選定委員会設置要綱の制定について

日程第6 その他

◇与謝野町の文化財の新規指定等について

◇学校等の適正規模適正配置に関する基本方針について

◇今後の予定について

議案第15号

専決処分の承認を求めることについて

令和5年12月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会について

与謝野町教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成18年与謝野町教育委員会規則第5号）第3条第1項の規定により教育委員会の権限に属する事項について、別紙のとおり専決処分をしたので、同条第2項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

令和5年11月28日提出

与謝野町教育委員会

教育長 長 島 雅 彦

提案理由

令和5年12月与謝野町議会定例会への提出議案に関し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく町長からの意見聴取について、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったため、与謝野町教育委員会教育長に対する事務委任規則の規定により専決処分したので、これを報告し、承認を求めるものである。

専決第 6 号

専決処分書

与謝野町教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成 18 年与謝野町教育委員会規則第 5 号）第 3 条第 1 項の規定により別紙のとおり専決処分する。

令和 5 年 1 1 月 2 2 日

与謝野町教育委員会
教育長 長 島 雅 彦

別紙

令和5年12月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に
対する意見について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和5年11月22日付5与総第508号で意見を求められました令和5年12月与謝野町議会定例会に提出される当委員会関係議案に対する意見は、下記のとおりであります。

記

- 1 旧岩屋小学校解体撤去工事請負契約の締結について
- 2 令和5年度与謝野町一般会計補正予算（第5号）

以上2件について、意義ありません。

議案第97号

旧岩屋小学校解体撤去工事請負契約の締結について

旧岩屋小学校解体撤去工事請負契約を、次のとおり締結するものとする。

令和5年12月1日提出

与謝野町長 山 添 藤 真

1 契約の目的	旧岩屋小学校解体撤去工事
2 契約の場所	京都府与謝郡与謝野町字岩屋地内
3 契約の金額	金125,070,000円
4 契約の相手方	京都府与謝郡与謝野町字弓木1437番地1
山城建設株式会社
代表取締役 山城 甲太郎

提案理由

旧岩屋小学校解体撤去工事に係る請負契約を締結するに当たり、その予定価格が5,000万円以上となるため、与謝野町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成18年与謝野町条例第53号）第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるものである。

工 事 概 要

1. 工事名 旧岩屋小学校解体撤去工事
2. 工事場所 与謝野町字岩屋地内
3. 工事内容 解体建物概要

	棟名	構造	階数	延べ面積
1	校舎棟	RC造	3階	2,029.04 m ²
2	機械室棟	CB造	1階	23.14 m ²
3	倉庫棟1	W造	1階	14.85 m ²
4	駐輪場	S造	1階	9.00 m ²
5	プール	RC造	1階	604.28 m ²
6	プール付属棟	CB造	1階	39.68 m ²
7	倉庫棟2	W造	1階	38.88 m ²
8	物置	軽量鉄骨造	1階	9.64 m ²
9	プロパン庫	CB造	1階	4.37 m ²

その他 建物基礎、アスファルト・コンクリート舗装、雨水排水枡、コンクリート側溝、ナイター照明設備（1基）、メッシュフェンス、樹木、その他付属物

4. 契約事項
 - (1) 工事請負額 125,070,000円
 請負工事価格 113,700,000円
 消費税相当額 11,370,000円
 - (2) 契約の方法 条件付一般競争入札
 - (3) 工 期 令和6年3月31日
 - (4) 契約保証金 12,507,000円（契約金額の10%以上）
 - (5) 前 金 払 契約金額の40%以内の額

5. 工事費の財源内訳 (単位：円)

項 目	区 分	金 額	摘 要
財源内訳	起 債	125,000,000	過疎対策事業債
	そ の 他	0	
	一般財源	70,000	
合 計		125,070,000	

6. 入札参加業者

砂後建設株式会社	有限会社石田建設
石本建設株式会社	株式会社きしべ建設

株式会社丸正組	安田建設株式会社
山城建設株式会社	以上7者

令和5年度

一般会計補正予算（第5号）資料

（教育委員会 学校教育課所管分）

令和5年度 一般会計補正予算(第5号): 学校教育課補正予算資料

■予算額推移表(歳入)

(単位:千円)

予算 書頁	款	項	目	節	細節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額		説明
									3号	5号	
14	国庫支出金	国庫補助金	教育費国庫補助金	教育総務費補助金	学校保健特別対策事業 費補助金	0	751	0	0	751	公立学校情報機器整備費補助金 補助率1/2、換気対策:3校分
16	諸収入	雑入	雑入	雑入	給食費実費徴収金 (給食センター)	68,991	69,314	68,991	0	323	物価高騰による増(+3.3%) 小中学校教員・給食センター職員分
16					給食費実費徴収金 (自校給食分)	13,360	13,550	13,360	0	190	物価高騰による増(+3.3%) 岩滝小学校教員分

令和5年度 一般会計補正予算(第5号): 学校教育課補正予算資料

■予算額推移表(歳出)

(単位:千円)

予算書頁	款	項	目	事業	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額		説明
									3号	5号	
50	教育費	教育総務費	教育委員会費	教育委員会費一般経費	交際費	1,244	1,294	1,244	0	50	全国大会等出場激励金 1人(団体)年1回 5,000円×10回分
42			事務局費	指導主事等設置事業	報酬・職員手当等・ 共済費	10,187	10,166	10,187	0	△ 21	会計年度任用職員報酬等 実績による減
42				事務局費一般経費	報酬・職員手当等・ 共済費	4,843	4,909	4,843	0	66	会計年度任用職員報酬等 人事院勧告による増
42			教育振興費	奨学金貸付事業	貸付金	3,792	1,692	3,792	0	△ 2,100	新規支給申請者無しによる貸付金の減
42				不登校等対策事業	報酬・職員手当等	7,655	7,791	7,655	0	136	会計年度任用職員報酬等 人事院勧告による増
42				学校教育振興事業	使賃・負補交・報酬 職員手当等・共済費	17,913	17,078	17,913	0	△ 835	町教育研究会補助金 実績による減
42			外国青年招致費	ALT事業	報酬	14,983	13,517	14,983	0	△ 1,466	新規ALTとの交代による 会計年度任用職員報酬等の減
44		小学校費	学校管理費	小学校管理運営事業	報酬・職員手当等・ 共済費・需用費・役務	158,224	157,680	158,224	0	△ 544	会計年度任用職員報酬等実績による減 △2,496、燃料費・光熱水費の増1,558
44				自校給食管理運営事業	報酬・需用費	28,492	29,258	28,492	0	756	賄材料費の物価高騰による増602 6.0%⇒9.3%(3.3%増)
44				新型コロナウイルス 感染症対策事業	備品購入費	0	1,503	0	0	1,503	空気清浄機9台、扇風機3台、暖房機1台 空気清浄機付ファンヒーター2台、
44			教育振興費	小学校就学援助事業	扶助費	13,300	12,641	13,300	0	△ 659	修学旅行費等の就学援助費 実績による減
44				小学校教育振興事業	需用費・負補交(補助 金)	13,913	23,409	13,913	0	9,496	校外活動費・修学旅行キャンセル料等 補助実績による減△500、指導書10,100
46		中学校費	学校管理費	中学校管理運営事業	報酬・職員手当等・需用 費	56,635	56,659	56,843	△ 208	24	会計年度任用職員等報酬の実績による減 △474、燃料費・光熱水費等の増498

令和5年度 一般会計補正予算(第5号): 学校教育課補正予算資料

■予算額推移表(歳出)

(単位:千円)

予算 書頁	款	項	目	事業	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額		説明
									3号	5号	
46			教育振興費	中学校就学援助事業	扶助費	11,400	10,610	11,400	0	△ 790	修学旅行費、PTA会費等の就学援助費実績による減
46				中学校振興事業	負補交(補助金)	10,623	9,323	10,623	0	△ 1,300	校外活動費・修学旅行キャンセル料等補助実績による減△800
50		保健体育費	学校給食費	学校給食センター 管理運営事業	需用費	133,445	136,679	130,495	2,950	3,234	賄材料費の物価高騰による増2,234 6.0%⇒9.3%(3.3%増)、燃料費1,000
	合計								2,742	7,550	

令和 5 年度

一般会計補正予算（第 5 号）資料

（教育委員会 社会教育課所管分）

令和5年度 一般会計補正予算(第5号): 社会教育課補正予算資料

■予算額推移表(歳入)

(単位:千円)

予算 書頁	款	項	目	節	細節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額		説明
									3号	5号	
14	国庫支出金	国庫補助金	教育費国庫補助金	社会教育費補助金	国重要文化財等保存整備費補助金	4,238	5,089	4,238	0	851	国重要文化財等保存整備費補助金補助率65%、修理内容変更による増
16	府支出金	府補助金	教育費府補助金	社会教育費補助金	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金	871	1,101	871	0	230	国重要文化財等保存整備費補助金補助率17.5%、修理内容変更による増

令和5年度 一般会計補正予算(第5号): 社会教育課補正予算資料

■予算額推移表(歳出)

(単位:千円)

予算 書頁	款	項	目	事業	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額		説明
									3号	5号	
46	教育費	社会教育費	社会教育総務費	社会教育推進事業	委託料	1,207	1,087	1,207	0	△ 120	月釜事業委託、障害者青年学級事業委託 皆減
46					負補交	4,767	4,723	4,767	0	△ 44	京都府PTA研究大会与謝大会補助金実績による減
48			社会教育施設管理費	公民館管理運営事業	職員手当等・共済費	5,208	5,237	5,208	0	29	会計年度任用職員職員手当等 人事院勧告による増
48				知遊館管理運営事業	報酬・職員手当等・共済費	14,251	14,657	14,251	0	406	会計年度任用職員報酬等 人事院勧告による増
48					需用費	9,720	9,865	9,720	0	145	燃料費高騰による増
48			文化財保護費	文化財保護事業	報酬・職員手当等・共済費	5,990	6,050	5,990	0	60	文化財保護委員会委員報酬の減 会計年度任用職員報酬等 人事院勧告による増
48					需用費	754	674	754	0	△ 80	不要額の減
48					負補交	5,770	7,160	5,770	0	1,390	伝統的建造物群保存修理補助金 修理内容変更による増
48			図書館費	図書館管理運営事業	報酬・職員手当等・共済費	16,011	16,732	16,011	0	721	会計年度任用職員報酬等 人事院勧告による増
48			教育文化施設管理費	三河内郷土資料室管理運営事業	報酬	0	18	0	0	18	三河内郷土資料室運営委員会の回数増
48					報償費	12	0	12	0	△ 12	報酬への組換え
50				江山文庫管理運営事業	報酬・職員手当等・共済費	2,586	2,645	2,586	0	59	会計年度任用職員報酬等 人事院勧告による増
50		保健体育費	社会体育施設管理費	屋外体育施設管理運営事業	委託料	7,825	8,425	7,825	0	600	野田川テニスコート整備委託
	合計					74,101	77,273	74,101	0	3,172	

与謝野町教育委員会告示第19号

与謝野町文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱を次のように定める。

令和5年11月28日

与謝野町教育委員会
教育長 長 島 雅 彦

与謝野町文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第183条の9第1項の規定に基づき、与謝野町文化財保存活用地域計画推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 与謝野町文化財保存活用地域計画（以下「計画」という。）の作成及び変更に関すること。
- (2) 計画に基づく施策の推進及び事業の実施に関すること。
- (3) その他計画に関して必要な事項

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから与謝野町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 本町内に存する文化財の所有者
- (3) 関係機関又は関係団体の代表者
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項本文の規定にかかわらず、前条第2項各号に該当しないこととなった

委員は、当該委員の任期が満了したものとみなす。

- 3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により決定する。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、与謝野町教育委員会事務局社会教育課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、協議会の運営等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和5年12月1日から施行する。

(会議の招集の特例)

- 2 この告示の施行の日以後及び会長の任期満了後最初に行われる協議会の会議の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が行う。

与謝野町教育委員会告示第20号

与謝野町学童保育所管理運営業務業者選定委員会設置要綱を次のように定める。

令和5年11月28日

与謝野町教育委員会
教育長 長 島 雅 彦

与謝野町学童保育所管理運営業務業者選定委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、与謝野町学童保育所管理運営業務（以下「業務」という。）をプロポーザル方式により、その契約相手方を厳正かつ公平に選定するため、与謝野町学童保育所管理運営業務業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 選定委員会は、次の各号に掲げる事項を調査審議した上で、業務にふさわしい業者を選定するものとする。

- (1) 与謝野町学童保育所管理運営業務公募型プロポーザル募集要項等の承認
- (2) 評価基準の承認
- (3) ヒアリング及び評価の実施
- (4) 業者の特定・非特定理由及び評価総評の作成
- (5) その他必要と認めるもの

(構成)

第3条 選定委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副町長
- (2) 総務課長

- (3) 教育次長
 - (4) 子育て応援課長
 - (5) その他町長が必要と認める者
- (委員の任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する所掌事務が終了したときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 選定委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は、副町長をもって充て、副委員長は、委員長が指名する。

- 2 委員長は、選定委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故等があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 選定委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数の出席により成立する。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(意見の聴取)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、関係職員を会議に出席させ、その意見を求めることができる。

(事務局)

第8条 選定委員会の庶務を行わせるため、事務局を社会教育課内に置く。

(その他)

第9条 この要綱で定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和5年12月1日から施行する。

(この要綱の失効)

- 2 この要綱は、第2条に規定する選定委員会の所掌事務が終了したときに、その効力を失う。